中野キャンパス　〒298-0271 千葉県夷隅郡大多喜町中野 589　TEL:0470-830830　FAX:0470-64-6350

三育学院中学校

２０２１年６月号

Building Character

『 一流の習慣 』

６/９朝 自主的に整えられた玄関の靴

中間休み前の日曜日、朝のチャペルの時間に、「一流の習慣」というテーマでプレゼンをさせていただきました。その中で以前、広島三育学院の高校のクラブ活動から始まった草の根的な、そして奇跡的ともいえるムーブメントについて紹介させてもらいました。どのようなことが起こったのかというと、広島三育学院の教員が、広島市内の公立高校でサッカー部の監督として指導しておられたある先生とお会いしたのがきっかけでした。高校生たちが、自分のクラブに誇りを持ち、自ら考えて行動する習慣がついた結果、本当に楽しくワクワクしながらクラブに打ち込むようになり、強豪校に名を連ねるように成長していったというのです。そして、三育高校の運動部の生徒を連れてその活動の様子を見学に行ってきました。生徒たちは、部活自体の取組み以上に活動中の控室やベンチなどに残された彼らの私物や道具類が美しく整えられていて、感動的だったという感想をもって戻ってきました。広島三育の生徒たちはその体験をもとに自主的に色々なものを整えることに取り組み始めたのです。その影響は、クラブ活動だけでなく、男女寮や、聖歌隊などの音楽活動にもおよび、彼らが行くところどこでも驚くほどに整いはじめたのです。あるクリスマスコンサートでホールをお借りした際には、会場のスタッフが、別のスタッフを連れて控室を見学に来るほどになっていきました。それが彼らの習慣となっていったのです。地域でも、三育の生徒は違うといううわさが広がり、交流試合の機会も多くなっていきました。

三育学院中学校のチャペルの時間にその当時の写真をたくさん見てもらいました。そして、「さて、三育学院中学校の一流の習慣は、どのようなものになっていくでしょうか。」と締めくくったのですが、その週のある朝の下駄箱を見て、とてもうれしくなりました。きっちり、靴のかかとをそろえて並んでいたのです。誰かが始めてくれたのですね。上の写真は６月９日の朝の下駄箱の写真です。この小さな取り組みが彼らの一流の習慣となっていくことを期待しています。

この活動を始められた、当時広島市の観音高校サッカー部監督であった畑喜美夫さんは、31 年間の高校教員としての働きを終えて、現在は人材育成、組織構築の全国の教育革命の活動をなさっておられます。その「ボトムアップ理論」の原点には、ワクワクする取り組みは、必ず続くという体験に基づいた考え方があるようです。

さて、三育学院中学校の一流の習慣はどんな形になっていくのでしょう。私自身が、ワクワクしています。

「あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」（マタイによる福音書５：１６）

久我原キャンパス　〒298-0297 千葉県夷隅郡大多喜町久我原 1500　TEL:0470-84-0111　FAX:0470-84-0076